

あとがき

新型コロナウイルス感染対策による行動等制限が解除され、日常が戻ってきて穏やかな新年を迎えておられたことと思います。そのような一月一日。能登半島を大きな地震が襲いました。ニュースで映し出される日常が崩れていくさまを、何もできないまま不安に襲われながら眺めていました。

日本中で「被災した方たちに何かできることはないものか」と思い巡らせているとき、六年生の子どもたちのなかから「自分たちにできることをしたい！」という強い思いが担任に寄せられました。「困っている人の役に立ちたい」「気持ちを伝えたい」と一歩踏み出す行動力は、かしこさとやさしさとたくましが備わっていないければ発揮できないことです。まさに、本校で目指す「かしこく やさしく たくましく」ある子どもの姿だと思いました。そして、子どもたちの気持ちを支えてくださる地域の皆様のお力添えをいただいたことは、「地域に愛されている平野っ子」を実感する出来事でした。

このような子どもたちの力は、日々の営み、授業の中で少しずつ少しずつ育まれてきたものです。その時々、真剣に学び考える経験を積むことの大切さを改めて感じています。

一ページ一ページに、そんな学んだことや考えたことがびっしり詰まっている文集をお届けいたします。今年度は、ホームページにてより多くの皆様にご覧いただけるよう工夫しました。ご家庭で子どもたちの一年間の歩みを振り返りながらお読みいただければ幸いです。

教頭 渡部美千恵